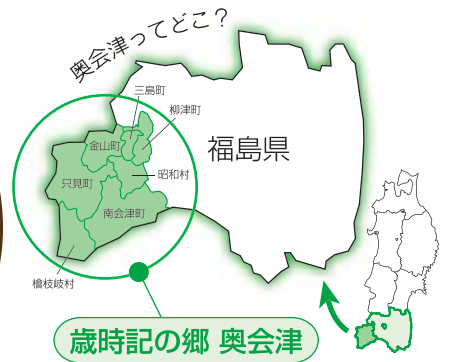


奥会津だより



歳時記の郷 奥会津

今も暮らしに生きる道具を6回シリーズで紹介しします。-No.1 雨蓑-



雨蓑 (あまみの)

梅雨時の野良では欠かせない雨蓑は、体を濡らさず蒸れることもない。雨ガッパは汗だらけになると、快適な雨蓑に慣れた人はこれを離さない。この雨蓑は30余年使い続けていまだ現役だ。いつも背に荷縄を負う。使い込まれた荷縄も、手入れが行き届いている。

なつのあめあたらしいかさつかえるね

平野 くる実さん(檜枝岐小)

第 **36** 号
— 2006年夏 —

水のある風景

さりげなく身の回りにある自然の宝物を紹介していきます。



③

湖・川・湿原・溪流・水辺・池・清水…。
万物にとってなくてはならない水は、さまざまに姿を変えて奥会津のいたるところに美しい景観を作ってきた。水辺を中心に人々の暮らしが広がり、あらゆる生物は水を求めて豊かな自然を形成してきた。
足元の何気ない水の風景は、なものにも代えがたい自然の宝物である。



②



④

- ①伊南川の溪流釣り
只見川に注ぎ込む伊南川は釣り人のメッカ。
- ②水引集落の清水(南会津町・館岩)
清冽な清水は奥会津の至るところに湧き出ていて、夏は野菜などを冷やしたり、子供たちの格好の遊び場ともなる。
- ③昭和村の溪流
昭和村の周囲にはいくつもの沢や溪流があり、豊かな水量は思わぬところにも滝を作る。
- ④沼沢湖(金山町)
ブナやミズナラの森に抱かれた山頂のカルデラ湖にはヒメマスが棲む。



①

写真/山浦芳明

奥会津つれづれ

住み慣れた町を別の視点で見るとい
うのは簡単なようで難しい。長所にも
短所にも気づかないことが多いからだ。
旅行でイタリアを訪れた時、歴史や
文化が残された町を肌で感じた。それ
は石畳や混沌とした街並みを歩くことよ
り強く感じる事ができた。石で造ら
れた建築物のため、有名なものに限ら
ず、商店や住居が数百年前の建築物と
いうのもおもしろい。町全体が歴史そ
のものという感じがした。

「花の都」フィレンツェでは、象徴
的な建物以外は同じ高さで茶色の瓦で
統一され、「屋根のない美術館」と呼
ばれるほど、町には彫刻や建築物など
ルネサンス文化の遺産があふれ、そこ
に人々が暮らししているのが印象的だっ
た。

地盤沈下がすすむベネツィアで出会
った、現地ガイドの言葉を思い出した。
「毎年自宅が歪んで、しよっちゅう修
理しながら暮らしているの。うちだけじ
やなく都市全体がどんどん歪んでいる。
不便なことも多いけど、私はこの街の
歴史や風景が好きだから、これからも
ここに住んでいく。」

美しい風景、昔ながらの懐かしい建
物や風景が残っているというだけでは
なく、地域の歴史を大切にし、そこに
ある資源が活かされながら人々が暮ら
し続ける街づくりが本当の景観づくり
なのかもしれない。

景観づくりに関する景観緑三法が施
行されて一年が過ぎた。奥会津でも景
観づくりに取り組んでいるが、まずは
一人一人が自分の町の歴史を知り、育
まれてきた地域の宝に気づくことが始
めの一歩につながる。(治)

自然に添う

月田禮次郎さん（月田農園経営、南会津町・南郷）



雑木の山林は多くの小動物たちの棲み家でもある

花の専業農家である月田さんの農業経営の姿勢は、決して営利目的のみではない。南郷という山村の特徴を生かしながら、持続可能な暮らしを再編するという生き方が基本にある。自然の中でゆったりと豊かに暮らしたいという願いの実現は、子供たちの夢を育む場をつくること、夢を伝えていくことだと語る。

ヒメサユリの栽培という困難な事業は、亡き父上と長年協働して行ってきた試行錯誤の成果である。連作障害を起こさないよう、毎年山を開墾している。古い田んぼを掘って水場を作ると、翌日からトンボが来るという。人間だけでは生きられない。いろんな生物といつしよだから豊かに生きられると考える月田さんにとって、新しく水場を作るのは楽しみの一つだ。



ヒメサユりに囲まれた月田さん

広大な山の林には、散策できるように道が作られ、間伐材で作られた山小屋は、人々の交流の場となっている。間伐材を活用した手作りのホルンは、演奏会ができるほどにズバリと並べられている。

月田さんの暮らし方に学ぶのは、自然に添う知恵と夢の豊かさだ。



▲手作りのホルン

只見線物語

奥会津の暮らしを見つめてきた只見線。列車が紡ぐ四季の風景。

大きく蛇行する川霧、その橋は微動だにせず、凜としてそこに在りました。やがて山々にその振動がこだましたかと思うと、二両編成の列車が、歩みを確かめるように渡ってゆきました。まるで、ひとつの自然現象のように。

絵・文 松本 忠

1973年生まれ イラストレーター
東北地方の路線を中心に、全国各地の抒情性溢れる鉄道沿線風景を描いている
著書：詩画集「たとえば空に絵を描くように」(新風舎)
三島展：7/26(水)～8/21(月)早戸温泉つるの湯



「大河の鼓動」只見線会津松原～会津西方（福島県三島町）

昭和 第21回 からむし織の里フェア

国指定保存技術(文化財)に指定された文化遺産をご堪能いただけるほか、体験コーナー(織物・染色など)も用意しております。また、友好都市である埼玉県草加市をはじめとした郷土色豊かな各種団体等の出店もごじやいます。
※体験できるものについては、いくつか有料のものがあります。
日時 平成18年7月22日(土)、23日(日)
初日オープニングセレモニー
博物館などの展示は 午前10時から 午前9時から
からむし織の里フェア実行委員会
☎0241(57)3100

奥会津だより地元記者紹介

各地域の情報を爽やかな視点で提供する「地元記者」が誕生しました。



柳津町 船木久美子さん

柳津町の船木久美子です。わたしの大好きな四季折々の柳津の景色や地域の情報を、趣味の写真をとおして主婦、女性の視点からみなさんに紹介していきたいと思ひます。みなさま、よろしくお願ひいたします。



三島町 小松順太郎さん

自然の中で育つ花や植物の姿や、遠くまで届く音や香り、そして季節ごとの行事や行事にまつわるお祭りやイベントなど、おもしろい出来事や風景などを、みなさんに紹介していきたいと思ひます。



金山町 滝沢 薫さん

昨年、生まれ育った只見から金山に嫁いできました。趣味のカヌーを通して水の豊かな奥会津を満喫しています。毎号楽しみにして『奥会津だより』の記者になれて嬉しひです。地域の風土や雄大な自然を紹介したいと思ひます。

南会津 伊南川鮎解禁 (伊南川の鮎釣り)

日時 7月22日(土)以降
問合せ 南会津西部非出資 漁業協同組合
☎0241(72)2110

南会津 会津高原 館岩 たていわ夏まつり

日時 平成18年7月29日(土)
午前10時から 午後9時まで
問合せ 会津高原たていわ夏まつり実行委員会
☎0241(78)2110

金山 湖と妖精のフェスティバル

日時 平成18年8月5日(日) 6日(日)
12時から21時まで 6日 10時から16時まで
問合せ 金山町役場地域振興課 商工観光係
☎0241(54)5327

コウモリ展 只見町に生息するクロホオヒゲコウモリ他、国内、世界のコウモリについてパネルで紹介ひます。

期間 平成18年7月16日(日)~9月15日(金)
開館時間 午前10時~午後4時 (毎週月曜日休館)
入場無料

ただみ川のものしり館 会津ただみ振興公社
☎0241-83-1733

只見 水の郷まつり

メインは、夜の只見湖面に広がる水中花火、その他にもカブト虫つかみ、カブト虫競争、郷土芸能発表など、子供から大人まで楽しめる催しが盛り沢山。
日時 平成18年7月30日(日)
午前10時から花火大会終了まで 午後8時より
問合せ 南会津郡只見町只見湖右岸公園 水の郷まつり実行委員会
☎0241(82)2380
tadamis@aknre.jp

金山 湖と妖精のフェスティバル

土曜日は、いかだレースや湖上ステージコンサート、夜に行われる大蛇出現と花火は見る者を魅了ひます。日曜日にはキャラクターショーやメインの大蛇退治をご覧いただけます。

南会津 奥会津・和太鼓の里 ねっかさすけねえ

今年で9回を数える和太鼓を中心とした邦楽の競演。プロ奏者をはじめ只見川流域の町村の和太鼓団体も出演予定。
日時 平成18年8月13日(日)
開場午後5時 開演午後5時30分
問合せ 伊南地域交流センター
☎0241(76)7715
hideo_tomita@kcnre.jp

柳津 霊まつり 稚児行列 流灯花火大会

夕闇迫る頃に灯ろうを流し、夜は盛大な花火が打上げられ幻想的なムードとなります。花火の迫力は素晴らしい、多くの人々で賑わひます。

日時 平成18年8月6日(日)
午前10時から
問合せ 湯ノ岐川(じらかば公園地内) 500円(館岩地区宿泊者無料) 南会津町館岩観光協会
☎0241(78)2546
kankoutaiwa.org

南会津 南郷豊年祭り

屋の部は、餅まき、抽選会、ヨサコイ、カラオケ、ライブなど。夜の部はさいたま市との親善花火大会や豊年踊り、仮装大会などが行われます。
日時 平成18年9月3日(日)
午前11時から午後9時まで
問合せ 南会津町山口 南郷体育館グランド 南会津町南郷観光協会
☎0241(72)2112
nanss@bz01.jpata.or.jp

金山 山入歌舞伎

古くから金山山入地区に伝わる「山入歌舞伎」の年一回の公演を行います。メインの山入歌舞伎の他、芸能発表や神楽などが行われます。
日時 平成18年9月5日(火)
問合せ 金山町芸能伝承館さるとむかし館 金山町役場地域振興課 商工観光係
☎0241(54)5327

南会津 奥会津・夏休み! 自然まるごと体験事業

ラフティング、甲虫採集、イワナアユつかみなど自然とふれあふ体験ツアー!
日時 平成18年8月22日(火)、23日(水)
1泊2日
問合せ 伊南総合支所集合午後1時
伊南川及びその周辺 小学生以上 一人1万円
☎0241(76)2214
svokokai@office.ina.fukushima.jp

柳津 霊まつり 稚児行列 流灯花火大会

夕闇迫る頃に灯ろうを流し、夜は盛大な花火が打上げられ幻想的なムードとなります。花火の迫力は素晴らしい、多くの人々で賑わひます。

日時 平成18年8月6日(日)
午前10時から
問合せ 湯ノ岐川(じらかば公園地内) 500円(館岩地区宿泊者無料) 南会津町館岩観光協会
☎0241(78)2546
kankoutaiwa.org

南会津 南郷豊年祭り

屋の部は、餅まき、抽選会、ヨサコイ、カラオケ、ライブなど。夜の部はさいたま市との親善花火大会や豊年踊り、仮装大会などが行われます。
日時 平成18年9月3日(日)
午前11時から午後9時まで
問合せ 南会津町山口 南郷体育館グランド 南会津町南郷観光協会
☎0241(72)2112
nanss@bz01.jpata.or.jp

金山 山入歌舞伎

古くから金山山入地区に伝わる「山入歌舞伎」の年一回の公演を行います。メインの山入歌舞伎の他、芸能発表や神楽などが行われます。
日時 平成18年9月5日(火)
問合せ 金山町芸能伝承館さるとむかし館 金山町役場地域振興課 商工観光係
☎0241(54)5327

南会津 古町のまつり

9日は五百年の伝統を今に伝える廣瀬神社例大祭、10日は豊年仮装踊りです。
日時 平成18年9月6日(土)、10日(日)
問合せ 伊南地域古町通り 南会津町伊南観光協会
☎0241(76)2214
svokokai@office.ina.fukushima.jp

方言クイズ クイズに答えてプレゼントを貰おう!

問題: 次の方言の意味は何でしょう?
「こしゃえる」
ヒント: 「壊す」の反対は?
正解者の中から抽選で1名様に、南会津町南郷の「南郷トマト」をプレゼントいたします。
●応募方法: 官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。
●あて先: 〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979 奥会津書房 宛
●応募締切: 8月10日消印有効
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。
※クイズの答えは次号37号で発表いたします。
◎35号「みんじゃ」の答え: 台所 たくさんのご応募ありがとうございました!